

協会記事

理事会（平成13年度第8回）

平成14年3月25日（月）17:30～19:15、当協会役員室において開催。出席：佐藤 久（会長）、佐藤 正（副会長）、田邊 裕（副会長）、井上英二、大島章一、嶋 吉彦、鶴見英策、長瀬和雄、西田耕一、盛谷智之の各理事、大竹一彦、佐藤俊典の両監事および事務局。欠席は野上道男理事（委任状提出）。

・議事録の承認：平成13年度第7回理事会議事録は承認された。

・報告事項：

1. 編集委員会報告：大島理事（編集委員長）

111巻1号は148ページ+投稿規程などで発行済み。111巻2号は「特集：地震・火山噴火活動の相関とトリガリング」で4月末発行予定。現在校正中、150～160ページの予定。111巻3号は通常号で助成金・援助金報告も掲載予定。111巻4号「特集：アジアの山岳氷河と山岳永久凍土」を予定。6号（特集号）は原稿依頼済み。多様なデジタルデータの投稿が増えているので、対応のため投稿規程（執筆要領）の改定を検討している。編集委員会のIT化に対する見解の表明：編集用パソコンの更新（リースによる）、通信回線の高速化、試行中のオンラインジャーナルの継続とデータのCD化などを要請する。

2. 会館委員長報告：田邊理事

2月14日に第3回委員会を開催、会館屋上の防水補修工事の現場を視察した後、14年度の事業計画および予算案（会館会計分）を決定した。

3. 広報委員長報告：盛谷理事

3月5日に委員会を開催し、前回要求した自前サーバーの件を撤回し、レンタルサーバーによる試行を行う方向に計画を変更した。

4. 日本地学史編纂委員会報告：井上理事（地学史担当）

3月20日に委員会を開催し、執筆中の原稿を持ち寄り検討した。次回委員会（5月に開催予

定）に最終稿を持ち寄り、7月投稿を目指している。

5. 図書委員長報告：長瀬理事

図書業務の進捗状況、および情報システム検討委員会報告に対する図書委員会の対応について報告があった。

6. 経理委員長報告：西田理事

平成14年度予算案の前回以降の修正点、およびペイオフ対策について報告があった。

7. 地学協会の知的財産公開の方針について：佐藤（正）理事

前回の宿題であったこの件について両副会長による検討の結果が示され、特に電子情報の公開範囲と料金徴収の問題について議論があった。

8. 行事委員長報告：嶋 理事

野上行事委員長欠席のため、嶋 理事から平成14年度春季講演会および海外巡検計画の概要について報告があった。

9. 庶務委員長報告：嶋 理事

人材派遣会社からの職員派遣が始まったこと、および退職する職員（有村和子）に対する感謝状贈呈の件、第19期学術会議に備えての学術研究団体登録の件、4月に予定されている文部科学省の実地検査の件、科学技術週間参加事業の件、および国際ワークショップ後援依頼の件が報告された。

・議 題：

1. 会員の入退会の承認

入 会：長田正樹、岡島義昭 2名
退 会：河野義礼 1名（逝去）
多田元彦、西垣好彦 2名

2. 平成14年度事業計画（案）および予算（案）について

嶋、西田両理事からそれぞれ事業計画および予算案の提示、説明があり、質疑応答の後、計画は原案通り、予算はパソコンの購入をリースに変更することともなう変更を行うことで決定された。

3. 名誉会員の推薦について

新しく名誉会員に推薦する候補者について委員会でも検討した結果を審議し、小林 勇前会長

と木村敏雄元副会長の両氏を総会に推薦することになった。

4. 総会,評議員会および春季講演会の日程について

第123回通常総会,第1回評議員会および春季講演会をいずれも5月25日(土)午後当協会において開催することになった。

5. 科研費補助金審査委員候補者の推薦のための選

挙人の推薦について

日本地理学会から依頼のあった標記候補者として選挙人として漆原和子,滝沢由美子,田邊裕,鶴見英策の4会員を,第1段審査の被選挙人として荒井良雄,松本 淳の両会員を,また第2段審査の被選挙人として斎藤 功,三上岳彦の両会員を推薦することになった。